

(活動報告書様式)

助成事業実施団体名	歴史の道土木遺産万世大路保存会		
実施事業名	歴史の道土木遺産万世大路を活用した交流と伝承事業		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 <u>協働助成事業（一般型）</u> 【県政課題名：歴史の道等の土木資源を活用した観光交流の拡大】		
団体の所在市町村名	米沢市	事業費及び助成額	事業費 501,218円 助成額 500,000円

■ 事業目的

万世大路は明治9年から明治14年に当時の土木技術を駆使して建設された福島市と米沢市を結ぶ幹線道路として山形県の近代化に果たした役割が高く評価されているため、この万世大路を地域資源として保存を図るとともに歴史的価値を若い世代へ伝承し、魅力を県内外へ発信することで誘客を図り地域活性化を目指す目的で実施しました。

■ 実施内容

- ① 万世大路の環境整備：トレッキングや散策がしやすいよう環境整備として伐採や草刈りを実施した。6月12日。
- ② 案内人用テキスト作成：万世大路を皆さんに周知するためガイドブックの製作及び案内マップを作成した。
- ③ 歩く会（トレッキングツアー）のサポート及び企画、実施：今年度は、6月19日（日）に一般対象に栗子隧道までの散策、6月25日（土）と7月2日（土）に福島交通による参加者の案内、10月10日（月）には、秋の栗子隧道散策を実施した。参加者総数は、179名。

■ 事業の成果及び今後の展望

万世大路の歴史的価値や魅力を多くの方に知っていただくことができた。また、標柱の設置や案内マップ等の作成、座談会の実施などを通し、万世大路の魅力の継承に貢献することができた。平成29年度には福島市から米沢市まで高速道路が開通し、県外からのアクセス利便性が大幅に向上することから交流事業として旅行業者、JR等関係団体と連携しながら継続的に県内外に情報発信を進めて誘客を図りたい。

